

名古屋市農業文化園・戸田川緑地の管理運営状況

1 基本情報

<所管局：緑政土木局>

指定管理者名	チームYMO		
主な業務内容	農業文化園・戸田川緑地の管理運営業務		
施設の所在地	名古屋市港区春田野二丁目3204		
評価対象期間	令和6年4月～令和7年3月	指定管理期間	令和5年4月～令和9年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
管理体制 及び協働	1 管理体制	職員配置	○	企業との連携による環境への取り組みを新たに実施した。
		緊急時の体制	○	
		人材育成等	○	
	2 協働	市民等との協働	◎	
維持・管理 運営等	1 維持管理	園内清掃	○	クビアカツヤカミキリの防除に努め、来園者への啓発も積極的に実施した。いたずらが繰り返された場所へ防犯カメラを設置し犯罪抑止に努めた。
		建物・設備の管理	○	
		保守・点検・修繕	○	
		植物管理	◎	
		管理水準の維持	○	
		関係書類の調製・保管	○	
	2 運営管理	利用者アンケートの実施	○	
		利用者ニーズの把握と反映	○	
		利用者サービス向上策	○	
		接客・接客向上の取り組み	○	
		苦情・要望に対する適切な処理	○	
		個人情報の適切な管理	○	
	3 この施設特有の管理	「農」に関する取り組み	◎	学校を対象とした野菜栽培の普及啓発や、3農業公園で連携した講座の開催、とだがわこどもランドとの連携による食育講座の実施等、「農」に関する取り組みを行った。SNSのフォロワー数が増加し、魅力的なイベントを実施することで来園者増加に努めた。
		めざす公園像への取り組み	○	
		西の森づくり地区の運営	○	
	4 魅力増進・利用促進	魅力の増進策	○	
		イベント等の実施	○	
		講習会等の実施	◎	
		利用者への広報・情報提供の実施	◎	
		利用者数の増加	○	
	5 取納金の処理業務	現金等の取扱い	○	
		関係書類の調製・保管	○	
自主事業	1 自主事業	事業計画に基づく自主事業の実施	○	
		集客対策への効果	○	
		自主事業の収支及び還元	○	
		便益施設の管理運営	○	
収支	1 収支	経費節減策	○	
		年間収支	○	
その他	1 その他	法令・協定の遵守	○	
		事業計画との比較分析	○	

【総合評価】

【評価点】

市民協働や企業との連携などを積極的に行い、新しい取り組みも行っていた。また、広報やPRにも力を入れ、公園の魅力向上や情報発信に努めていた。維持管理においては、クビアカツヤカミキリ等の外来生物への対応について、駆除や来園者への啓発などに尽力していた。

【改善点】

夏の酷暑期など来園者が減る中で様々な対策を行っているものの、来園者が前年度を下回っているため、更なる魅力向上に取り組み、来園者数の増加を目指してほしい。

施設の現状

名古屋市農業文化園・戸田川緑地

施設の現状	施設概要							
	農業文化園は市内随一の農業地域である港区に位置し、農業の歴史や技術を学び、花や緑を楽しむことのできる農業公園です。都市農業に関する知識及び技術の普及啓発を行うとともに、市民に花とみどりに包まれたレクリエーション活動の場の提供を目的とした施設で、農業科学館やフラワーセンターでの展示会、農業や草花の体験教室、野菜の収穫体験などを行っています。 また、隣接する戸田川緑地は「健康とスポーツの里」を全体テーマに、戸田川に沿って整備が行われている総合公園です。とだがわの森や花の丘など四季を通して豊かな自然にふれることができる場所が多くあり、家族で楽しめる様々なレクリエーション施設が設けられています。 農業文化園・戸田川緑地が一体となって、季節に応じた年5回(5月・6月・10月・11月・3月)の催事も行っており、多くの市民に親しまれています。							
	市の収支状況(千円)（6年度決算(見込)額）							利用料金
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	
	208,995	0	208,995	5,986	0	203,009	208,995	-
	特記事項							
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	入園者数(戸田川緑地含む)		人	934,705	975,752	930,829	914,509	
	農業科学館展示室及びフラワーセンター入館者数		人	138,050	140,419	143,140	132,248	
	特記事項							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載